

高知県感染症発生動向調査（週報）

2011年第6週

[23年2月7日～23年2月13日]

高知県衛生研究所

高知県感染症情報センター

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.kenkou.med.pref.kochi.lg.jp/eiken/>

E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.lg.jp

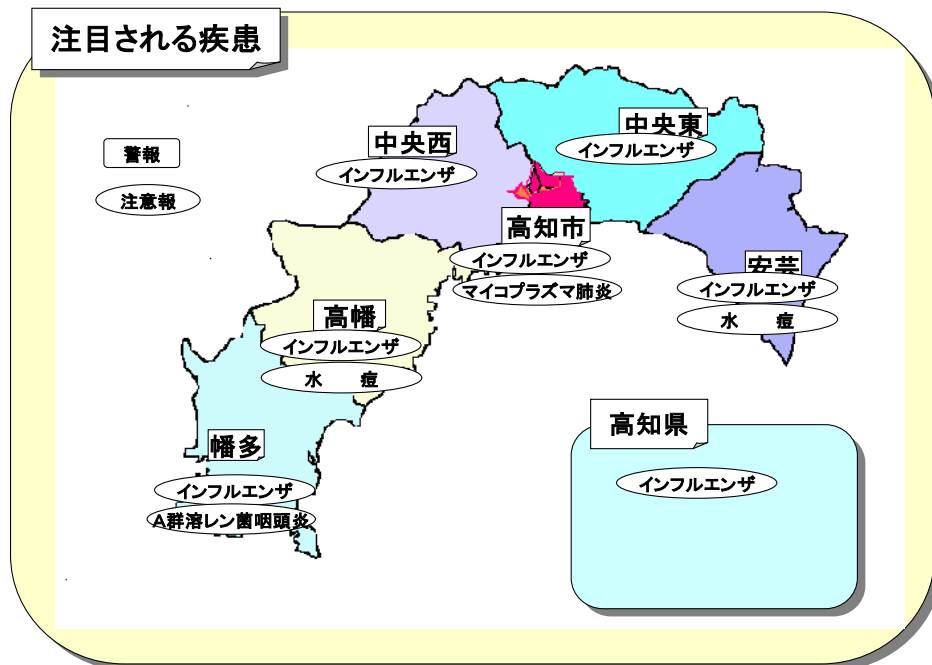
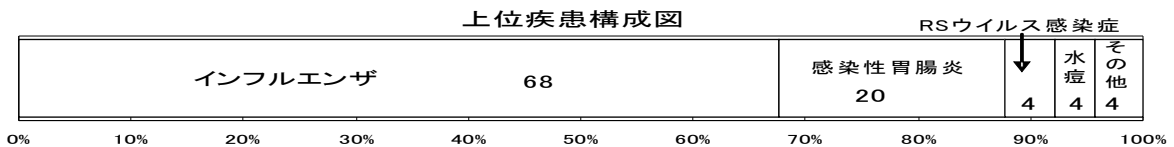
県内情報

○ 患者情報総評

注意報発令疾患：インフルエンザ

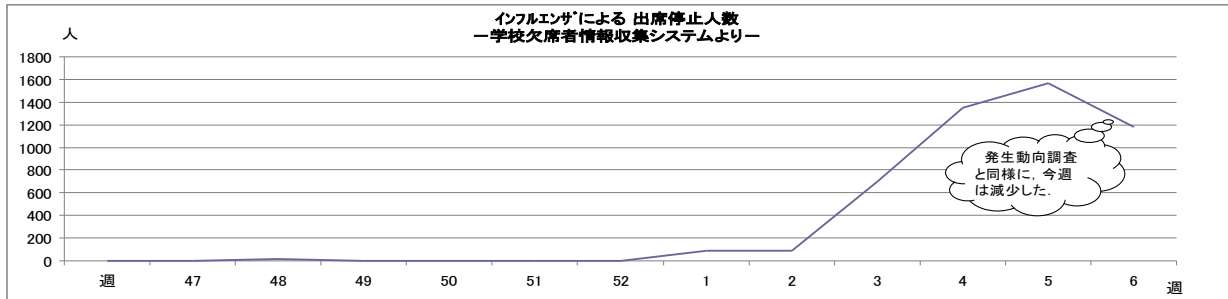
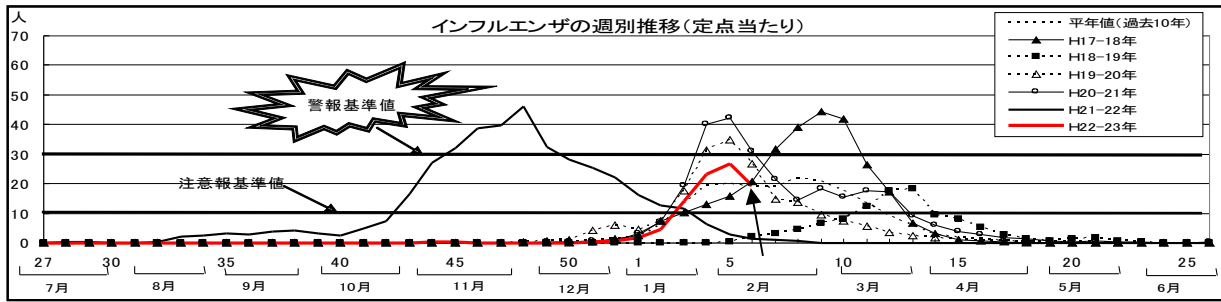
- 週の中頃までは天気も良く、暖かい日が続いたが、週末は再び気温が低くなり厳しい寒さとなった。
- インフルエンザ（幡多：注意報→注意報，高知市：警報→注意報，中央東：注意報→注意報，高幡：注意報，中央西：警報→注意報，安芸：注意報→注意報）は高幡と幡多で増加したが，その他の地域で減少し，総数は前週の約7割に減少した。
- 感染性胃腸炎は高知市と高幡で増加し，安芸では横ばい，その他の地域で減少した。総数はやや増加し，引き続き増加傾向が続いている。
- 水痘（高幡：注意報→注意報，安芸：注意報→注意報）は高知市で大幅に減少したため，総数も減少し，注意報値を下回った。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（幡多：警報→注意報）は中央東は横ばい，その他の地域では減少し，総数は大幅に減少した。

上位疾患構成図



インフルエンザ：今週 19.52（注意報値：10.00 警報値：30.00）

高幡と幡多で増加し，高幡でも注意報値を超した。しかし，その他の地域で減少し，高知市と中央西で警報値を下回った。また，年齢別でみると，5～9歳が25.0%，10～14歳が16.3%，1～4歳が16.2%の順で報告が多い。今週はAH1pdmが10件，Bが4件（前週速報として記載）検出されている。また，施設別発生状況では，3保育所，3小学校，2中学校，その他1の施設で患者数77名となり，学級・学年閉鎖，休園の措置が取られた。総数は減少したが，地域によっては増加しており，引き続き注意が必要である。



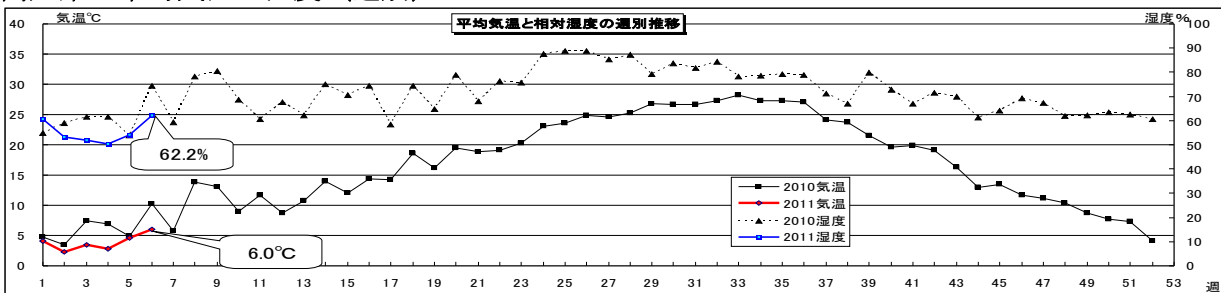
○ 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス, 細菌の検出状況
6	インフルエンザ	不明 男	幡多	Influenza virus B
6	インフルエンザ	不明 男	幡多	Influenza virus B
6	インフルエンザ	不明 男	幡多	Influenza virus B
6	インフルエンザ	不明 男	幡多	Influenza virus B
6	インフルエンザ	7歳 男	高知市	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	1歳 女	高知市	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	2歳 女	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	40歳 女	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	31歳 女	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	58歳 女	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	20歳 男	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	34歳 男	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	8歳 男	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	インフルエンザ	6歳 男	高幡	Influenza virus A H1pdm
6	感染性胃腸炎	1歳 男	高知市	Norovirus G II
6	感染性胃腸炎	1歳 女	高幡	Rotavirus-A

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 2例 (32, 83歳男) 《高知市》 (今年17例)
 5類感染症：後天性免疫不全症候群 1例 (51歳男) 《中央東》 (今年1例)

○ 高知県の平均気温と湿度 (週別)



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

- 《さたけ小児科》：マイコプラズマ肺炎 2例 (5歳男, 13歳女)
インフルエンザの33例中18例はA型陽性, 15例はB型陽性
- 《大井田病院小児科》：インフルエンザの8例中1例はB型陽性
- 《渭南病院小児科》：インフルエンザの63例中5例はA型陽性 (うち予防接種歴ありは1例, なしは4例), 58例はB型陽性 (うち予防接種歴ありは10例, なしは48例)
アデノウイルス咽頭炎 2例 (1, 4歳男)
- 《こいけクリニック》：インフルエンザの36例中30例はA型陽性, 6例はB型陽性

《松谷内科》：インフルエンザの10例中6例はA型陽性，4例はB型陽性，うち6例は予防接種歴あり
異型肺炎 1例（29歳女）

高幡：

《もりはた小児科》：インフルエンザの27例は全てA型陽性，うち3例は予防接種歴あり
感染性胃腸炎はロタウイルスによるものが増加傾向

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの39例は全てA型陽性

《くぼかわ病院内科》：インフルエンザの6例はA型陽性

中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの21例は全てA型陽性，うち5例は予防接種歴あり

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの5例（うち2例は須崎市）は全てA型陽性
帯状疱疹 1例（9歳男）

《岡本内科》：インフルエンザの15例中2例は予防接種歴あり

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの31例中1例（40歳代男）はB型陽性

高知市：

《矢野小児科》：インフルエンザの36例中7例は予防接種歴あり

《福井小児科内科》：インフルエンザの26例は全てA型陽性，うち5例は予防接種歴あり
アデノウイルス陽性 1例（2歳男）

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの53例は全てA型陽性，うち16例は予防接種歴あり
マイコプラズマ肺炎 4例（8,10歳女，7,9歳男）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの25例は全てA型陽性，うち7例は予防接種歴あり
感染性胃腸炎の1例（2歳男）はロタウイルス陽性

《依岡内科》：インフルエンザの5例中2例は予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの4例は全てA型陽性，うち2例は予防接種歴あり

《細木病院内科》：インフルエンザの14例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは4例，なしは6例

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの17例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは4例，なしは11例

《近森病院内科》：インフルエンザの39例中30例はA型陽性，2例はB型陽性，うち予防接種歴ありは3例，
なしは7例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの10例は全てA型陽性，予防接種歴なし

中央東：

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの12例中11例はA型陽性，1例はB型陽性

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの41例中39例はA型陽性，2例はB型陽性
ロタウイルス胃腸炎 3例 マイコプラズマ肺炎 2例（34,92歳女）

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの7例中4例はA型陽性，3例はB型陽性，うち予防接種歴ありは3
例，なしは4例

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの6例は全てA型陽性，うち予防接種歴ありは2例
疑われるもの多数

《いはら内科小児科》：インフルエンザの36例中34例はA型陽性，2例はB型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの26例中23例はA型陽性，2例はB型陽性

《嶺北中央病院内科》：インフルエンザの24例中2例は予防接種歴あり

安芸：

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの32例中12例はA型陽性，予防接種歴なし

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの7例は全てA型陽性，予防接種歴なし

全国情報第4週（1/24～1/30）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核297例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症9例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎18例、つつが虫病1例、デング熱2例、ボツリヌス症1例、マラリア1例、レジオ
ネラ症8例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢17例、ウイルス性肝炎（B型）3例、急性脳炎6例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、後天性免疫不全症候群12例（AIDS 3例、無症候8例、その他1
例）、梅毒9例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例、麻しん10例

報告遅れ：急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風
しん1例

◆インフルエンザ

2011年第4週の定点当たり報告数は31.88（報告数157,381）となり、第42週以降15週連続で増加が続いて
いる。都道府県別では宮崎県（60.88）、長崎県（56.61）、福岡県（47.17）、佐賀県（46.64）、群馬県
（45.30）の順となっている。定点当たり報告数は42都府県で20.00を、18都県で30.00を、11県で40.00を上回
った。37都府県で前週の報告数を上回ったが、流行が最も大きな九州地方では、宮崎県を含めた5県で前週
よりも減少がみられた。

定点医療機関からの報告数をもとに、定点以外を含む全国の医療機関を1週間に受診したインフルエンザ
患者数を推計すると、2011年第4週は約176万人（暫定値）となり、前週の推計値（約149万人）を上回った。
176万人の内訳は男性約90万人（51.1%）、女性約86万人（48.9%）であり、年齢群別では5～9歳約35万人
（19.9%）、20代約24万人（13.6%）が多く、次いで0～4歳、10～14歳及び30代が約23万人（13.1%）であった。
全年齢群で推計受診患者数の増加がみられており、特に5～9歳と0～4歳の増加が大きかった。2010年第36週
以降これまでの累積の推計受診患者数は490万人（暫定値）であった。

2011年週報推移(定点当たり)

